

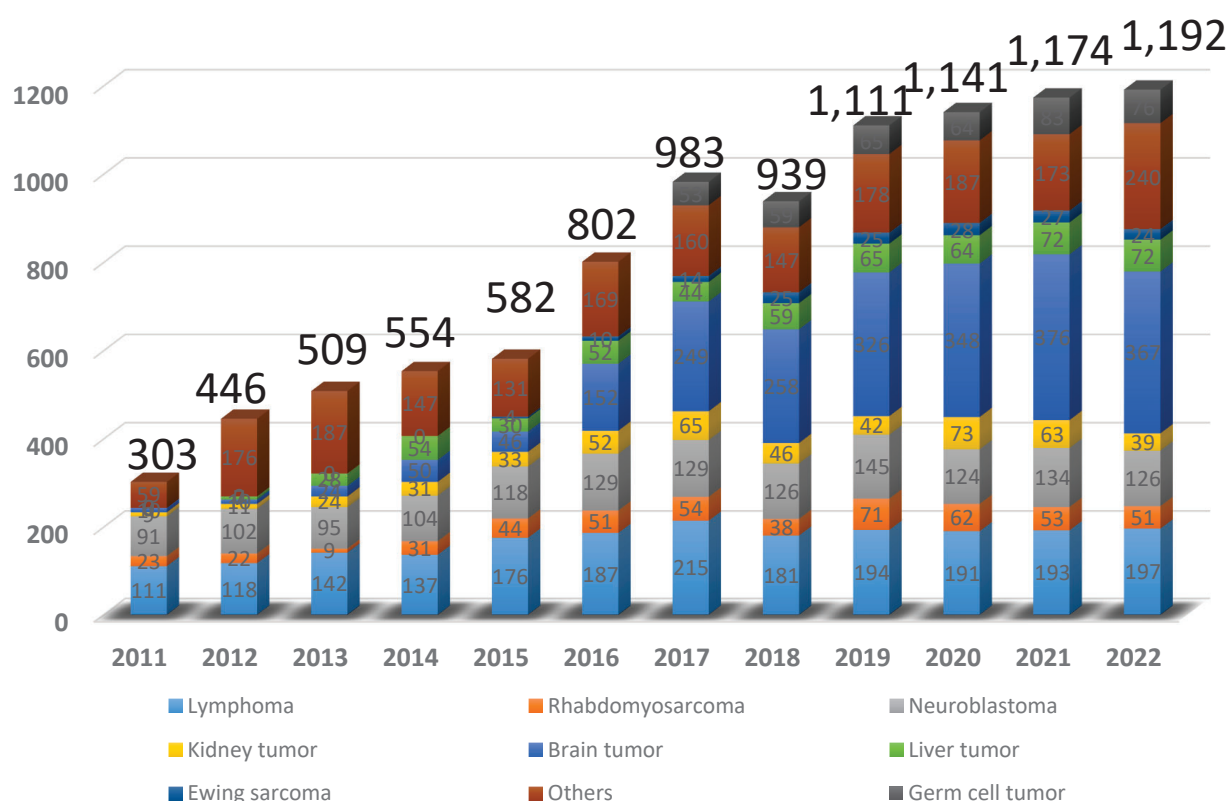
2022年度 中央機関アドバイザリーボード 中央病理診断からの報告

2023.3.6

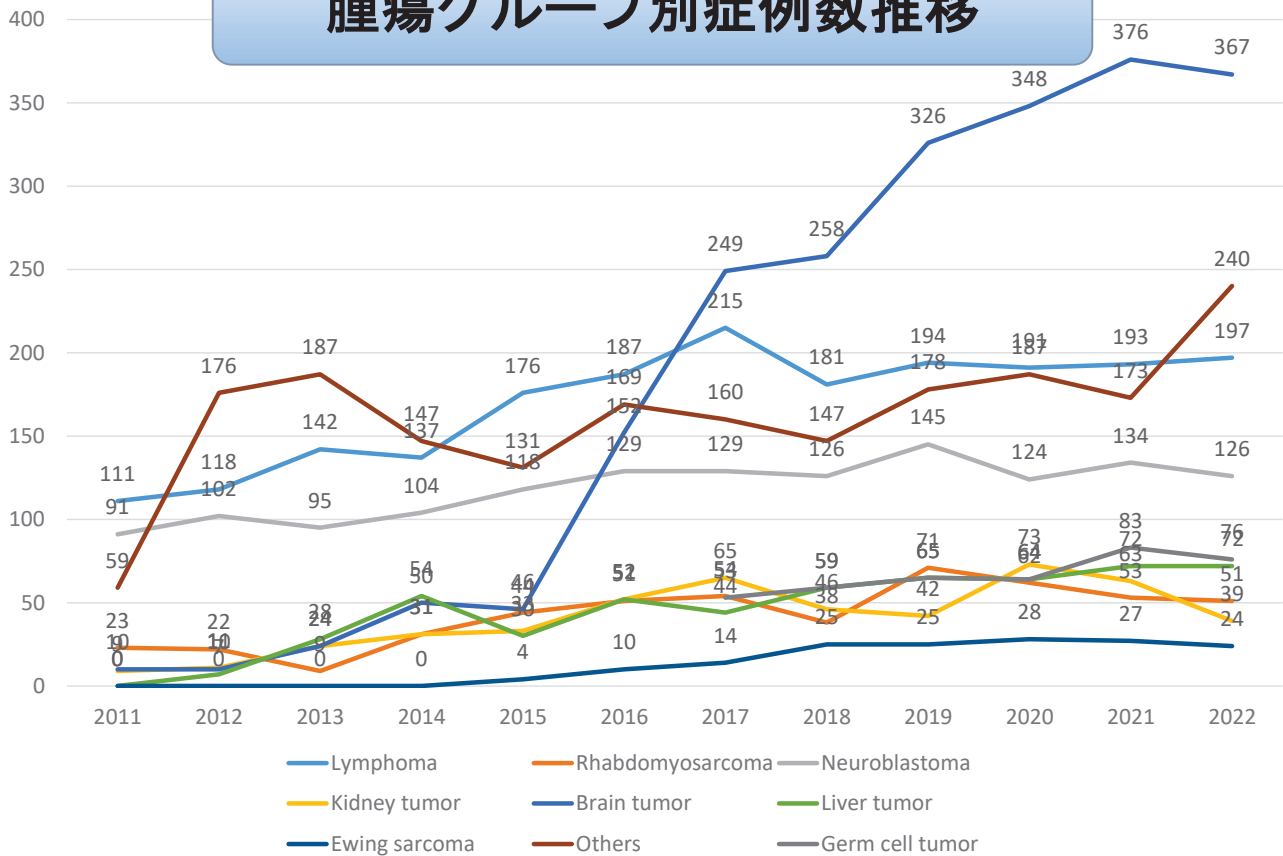
国立成育医療研究センター病理診断部

義岡 孝子

中央病理診断症例数の推移

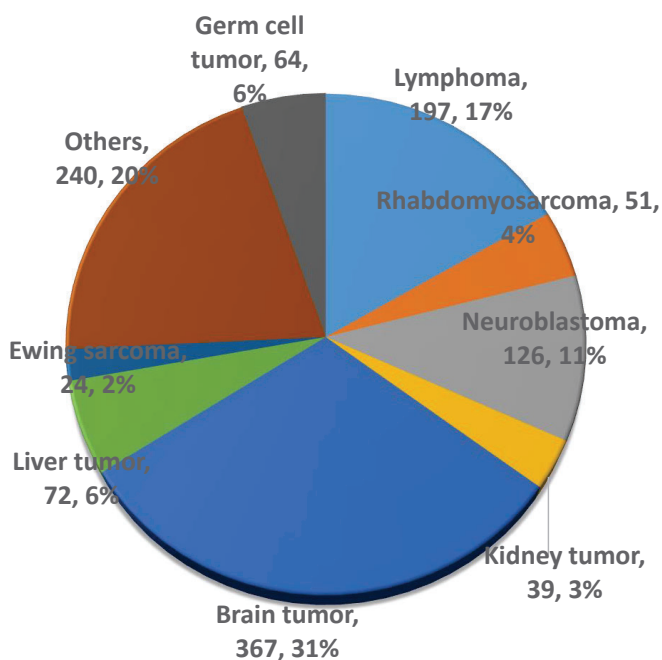


腫瘍グループ別症例数推移

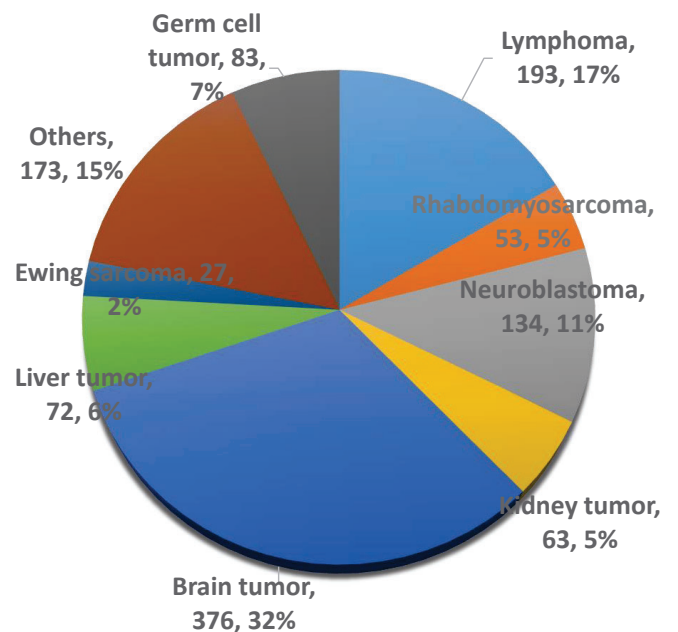


腫瘍グループ別 中央病理診断症例数

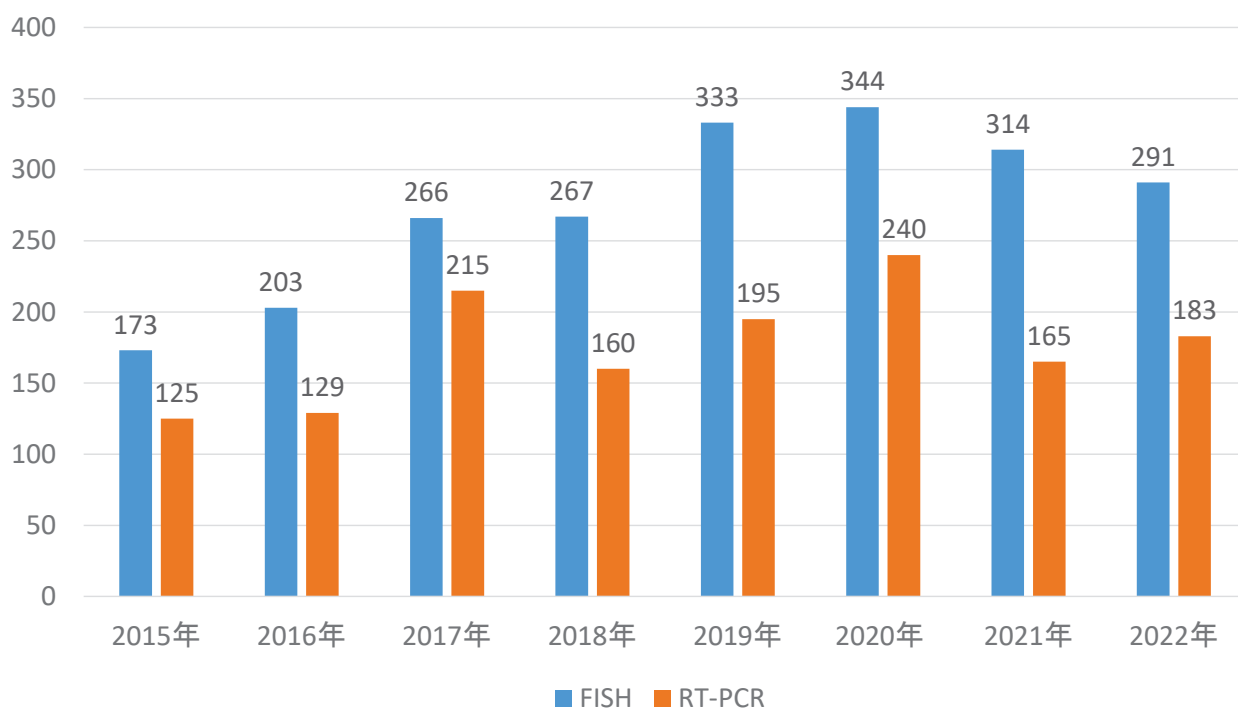
1,192 cases, 2022



1,174 cases, 2021



遺伝子解析件数 (FISH, RT-PCR)



脳腫瘍の分子診断件数推移



小児がん拠点病院 病理診断部会からの報告

- ・ 拠点病院の病理診断責任者より

中央病理診断結果は中央病理診断報告書を病理部門にもfeed backしてもらっている。その内容について、中央病理診断担当者へ質問がある場合は対応してもらいたい。

- 中央診断事務局、義岡で対応。
- 病理医同士での情報共有を行う。

小児がんの統合病理診断 に関する研究(厚労科研)

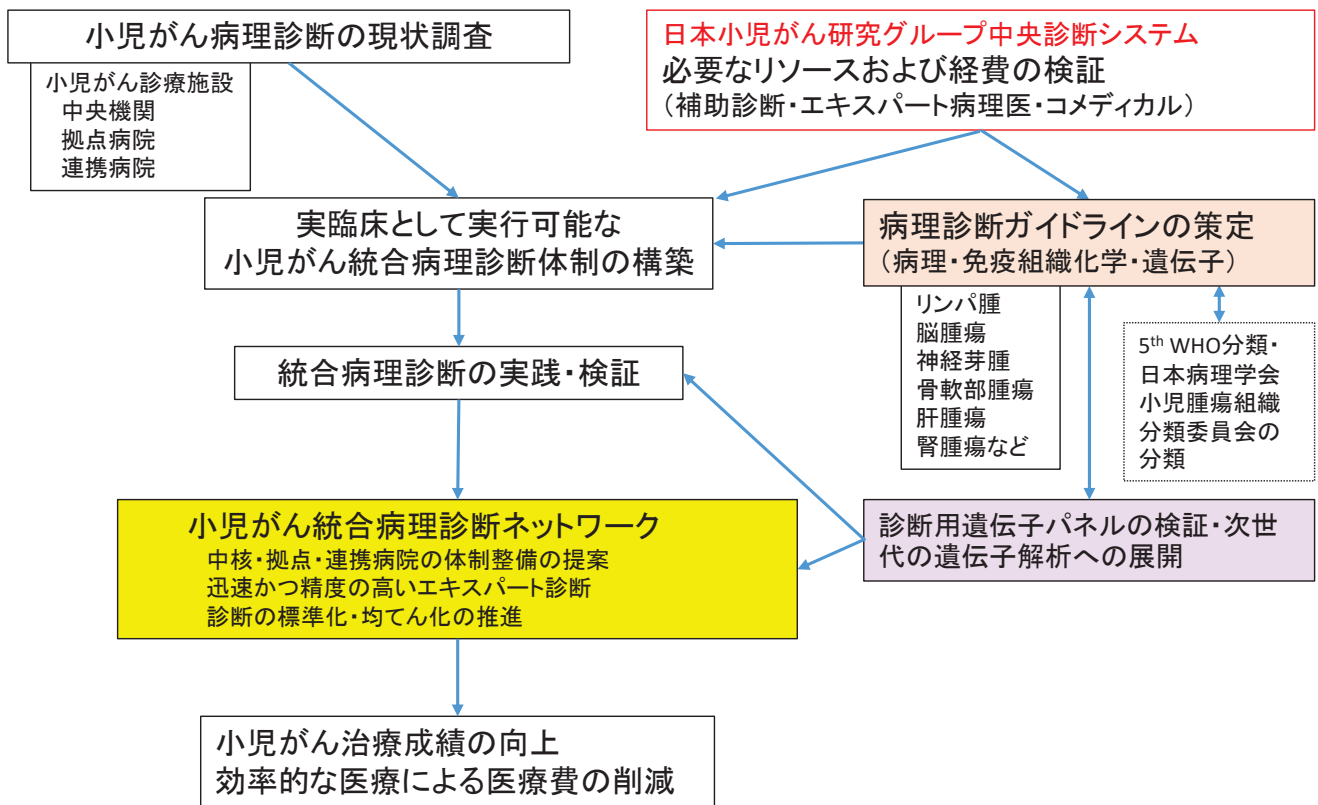
- ・ 持続可能な中央病理診断体制をつくるためにはどうしたらよいのか？
- ・ 令和4年度～6年度に厚労科研で行う研究について、義岡(成育)より説明、協力をお願いした。

研究課題：

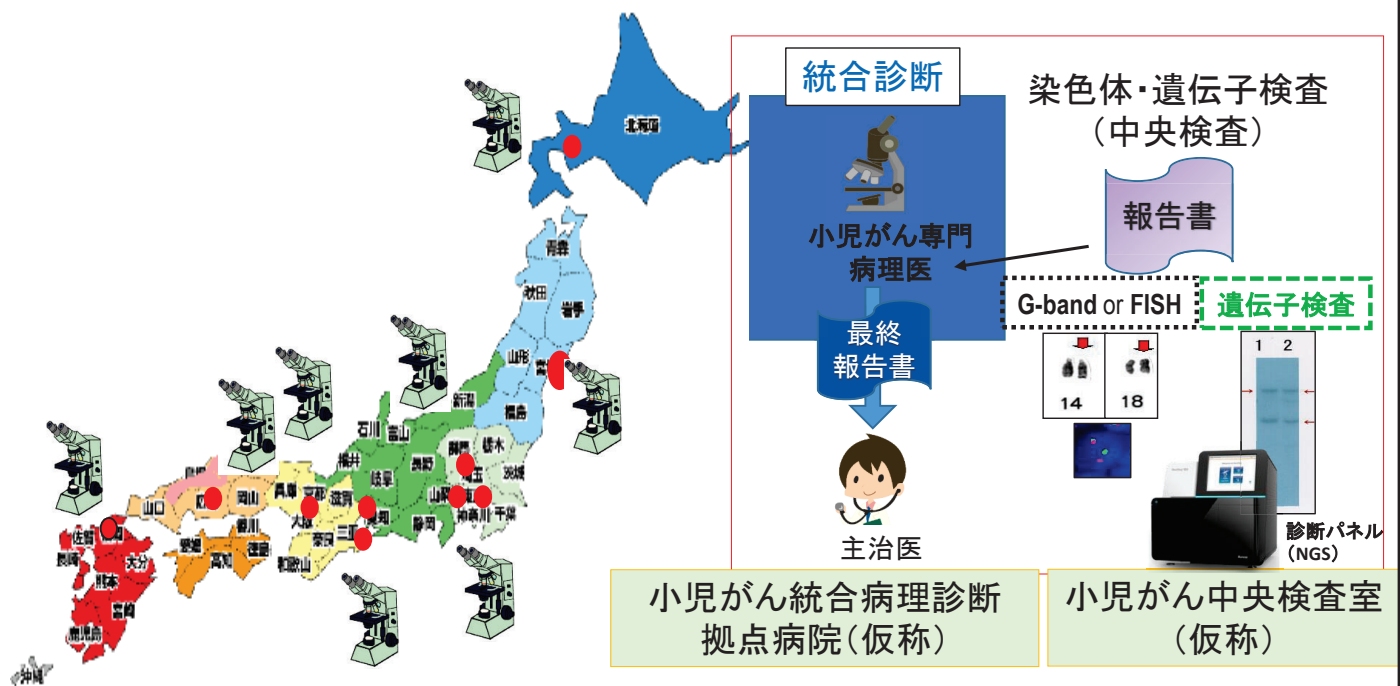
小児がんの統合病理診断に関する研究

まずは、“小児がん病理診断の現状”を把握するために、小児がん拠点病院および連携病院にアンケートをお願いすることになっている。

小児がんの統合病理診断体制に関する研究(厚労科研)



小児がん統合病理診断ネットワーク



- 小児がん統合病理診断拠点病院(仮称)
小児がん中央機関・拠点病院・連携病院に小児がん専門病理医を配置
- 小児がん中央検査室(仮称)の配置
- 中央機関・拠点病院を中心とするネットワーク